



▼ 南北海道帆走協会定期総会

平成25年5月25日(土)
午後5時より平成25年度の定期総会。

5月25日(土)湯ノ川ホテル万惣にて定期総会が委任状50名出席会員43名で開催された。

冒頭、今年3月15日に亡くなられたヨット旭光の佐藤義宏理事に対して哀悼の黙禱が捧げられ総会に移行した。

河村会長から今年1年の活動に対しての協力と第2回のトヨペットカップについても協賛の話があった。その後議長にギャロッパーの石川氏を選出し議題に入り。24年度の各委員会報告と会計報告、監査報告が前会一致で確認され続いて、25年度の各委員会の活動方針(案)会計予算(案)ポンツーン管理運営費それぞれ承認された。

また、泊地規定の見直し(案)が増田副理事長から提起され承認、役員留任についても確認された。最後に石川理事長から今年2月に起こったフェリーの油流失事故の経過報告と会の運営の協力として日頃からレース等に参加しているクルーの会員登録をお願い総会は無事終了した。その後、懇親会が開催され来賓に青森セーリング倶楽部から福原会長、函館海上保安部から高桑交通課長、函館市港湾空港部の平井部長がお見えになり盛大の中終了した。

▼ まずまずのオープニングレガッタ

土曜日の懇親会后、宿泊チームの部屋にて2次会に参加させていただきましたが、翌日のレースのことが気になり、早めに帰宅した。

メインセールセッティングが出来ていないので日曜日はいつも通り午前8時に集合。メンバーは、小生・山本・橋本・石井・小林加えてナディアの水野さんからご紹介いただいた堀田さん 計6名のエントリーとなった。

レースコミッティーの人数が3名ということで、レースコースを入船ー上磯セメント赤浮標ー黄色オイルブイー上磯セメント赤浮標ー黄色オイルブイー入船の変則コースを提案。ブロスチームは、アウターマークを打つために早めに出港。60歳の目標が日本1週という山本氏にヘルムを担当してもらうが、途中根本からエクステンションが折れてしまい、急きょ亀谷がヘルムを担当。アウターマーク設置後、セールアップしクローズホールドにてジブシーティングの位置を確認。久しぶりのセーリングですがブロスチームのチームワークはいつも通りグッジョブといったところか!!

南西の風6から7メートルの午前10時30分スタート、ポートのアビームだったのですぐさまピンアップ。スピンの威力により第1レグは先頭のポジションをキープ。徐々にチャンピオンが追いついてきて、風上からオーバーラップ。今回のコースはクロック回りであったためマークループを要求。

しかし赤浮標の周りは網だらけで逆にチャンピオンからコース変更を要求される羽目に。微妙なジャイブを完了して黄色ブイにアプローチするが、今度

はナナが追い上げてきた。だんだんクローズトリーチのコースになってきたため、早めにスピンを降ろすがその後ナナに追い抜かれてしまった。

黄色ブイ回航後クローズホールドのコースとなるが ナナのヘルムは石川氏。すかさず我々のコースから風上側にコースを変更し、ブロスをブランケットコーンに入れてくる。コース変更をせざるを得なく、この差は2週目の黄色ブイまで続いてしまった。

最終レグの入船の間は、またナナのブランケットの攻撃に合い、ブロスチームも受けて立とうとタックマッスを繰り返す。4,5回のタックマッスをしていたら後続からマイウェイが近づいてきている。その後ナナより風上の位置につくと徐々に艇速が上がり始め、フィニッシュ直前でナナを逆転。チャンピオンの後に2着でフニッシュ。SHORCレーティングではチャンピオンより高いレーティングではありますが、接近戦やタックマッスといった内容に満足のいったレースでありました。

この調子で来月のトヨペットカップ、
いただくぞ————!!

オープニングレガッタ表彰式収支

収入 2,000円×29名=58,000円

Table with 2 columns: 支出 (Expenditure) and amount. Items include 飲料水 (2,299円), 紙皿他 (2,025円), ビール代 (18,520円), 食料品 (12,788円), 保険代 (4,725円), 副賞 (9,530円), ガス代 (2,221円), 支出合計 (52,108円).

残 5,892円 (ハウス備品代にあてます。)

▼ アマチュア無線免許

新しい会員名簿にも載ると思いますが、書かれてあるアマ無線コールサインで免許状況を確認しましたら28免許中14局が期限切れでした。

中には全く動いていない艇もありますが、使える状態の無線機の免許が期限切れになっていると不法開設になってかなり重い処分が科せられます。

海保も取り締まりの重点に置いているようですので皆さん確認をして下さい。

VHFに移行して使用しなくなった無線機は必ず取り外すことも忘れずに徹底してください。

受信だけしか使用しないし、マイク外しているとは理由になりません。

総務省の無線局情報でコールを入れるとすぐに分かります。自艇が怪しいと思われる方は滝野委員長か総務田中までお問い合わせください。

沖縄から函館へ ヨット<マイウェイ>の航海
Vol 6は次号掲載致します m(_)_m